

神奈川県身体障害者連合会会報

身障かながわ

発行 (公財)神奈川県身体障害者連合会
会長 戸井田 愛子
〒221-0844
横浜市神奈川区沢渡4-2
電話 045-311-8736 FAX 045-316-6860
編集 「身障かながわ」編集委員会
編集委員長 新井修身
印刷 有限会社 横浜綜合印刷

- 平成30年度事業計画並びに収支予算決まる ①
□ 災害リーフレットについて ②
□ 二人だけの会津の旅(秦野市) ③
□ 我が町から(相模原市) ③
□ 第12回神奈川県障害者スポーツ大会開幕 ④
□ 第18回全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」 ④
□ 県視覚障害者福祉協会七十周年記念式典のご案内 ④
□ さんぽみち(横須賀市) ⑤
□ みんなの広場(茅ヶ崎市) ⑤
□ パラリンピックを生きがいにする我が子 ⑥
□ 県身連事業予定(4月~7月) ⑥
□ 編集室から ⑥

平成三十年度事業計画 並びに 収支予算決まる

県身連の平成三十年度事業計画と収支予算が、理事会並びに評議員会で承認可決されました。

平成三十年度の事業予算額は、七千四百九十九万一千円で前年度予算と比較すると二百八十三万七千九百円の減少となっています。この主な理由は、神奈川県障害者スポーツ振興事業費の全国障害者スポーツ大会派遣費が減額したためです。毎年開催地が違うため、開催地へのアクセス等で今後も増減が見込まれます。逆に、同じ理由で増額しているのが日身連大会参加費です。これも毎年開催地が違うため増減があります。今年度の日身連福祉大会は群馬県で開催することもあり、関東圏で開催の場合は、負担金があること、また、日身連関東ブロック協議会が、神奈川県で開催されることから増額しております。部会活動費の減額については、県身連会費を部会活動費に充てているため、肢体・視覚・聴覚の三部会ともに各九万円の減額と

平成30年度神奈川県身体障害者連合会事業予算 (単位:円)

Table with 4 columns: No., 事業科目, 本年度予算, 増減. Rows include management fees, personnel fees, meeting fees, etc., totaling 74,991,000 and an increase of 2,837,900.

なりました。

県身連の平成三十年度の事業活動は、関係各位のご支援をいただきながら、事業計画については、次の方針のもとに進めます。

一、財政状況の厳しい中、予算の確かつ効率的な執行を図り、地域団体と連携を強化し誰もが暮らしやすい共生社会の実現に向け、身体障害者・知的障害者・精神

障害者に向けた各種事業を行う。

二、二〇二〇年に向けて、障害者スポーツの充実を図りながら新規会員の獲得を目指す。また、当連合会の自主財源については、経費の節減を進めながら確保に努めるとともに、会員各位の自主的、積極的な参加のもとに法人の目的達成に努める。

災害リーフレットについて

昨年春、県身連聴覚部会である神奈川県聴覚障害者協会を含む関係 7 団体からなる「聴覚障害者災害対策神奈川県本部（以降は、「災害対策本部」と呼びます。）」では、地域の民生委員及び自治会の方に、聴覚障害者や盲ろう者への理解を深めていただき、災害時での聴覚障害者や盲ろう者への対応方法を知っていただくために、A3 両面刷りの「聴覚障害者災害リーフレット」を作成し、地域の主な市町の民生委員、自治会役員などに配布しました。

この聴覚障害者災害リーフレットを作成、配布した経緯について記したいと思います。

まず、災害対策本部は、2011 年の東日本大震災をきっかけに、災害時における地域の被災聴覚障害者の支援を行うことを目的に、神奈川県聴覚障害者協会を中心として立ち上げられました。

(※構成団体はリーフレットでご確認ください。)

この災害対策本部において、災害時における聴覚障害者や盲ろう者の救援体制、被災した聴覚障害者や盲ろう者の支援体制などについての学習、協議を重ねるとともに、次のような活動を行ってきました。

- 安否確認行動訓練、報告会
- 市町村の聴覚障害者の災害対応アンケート実施、報告会
- 東日本大震災被災地訪問

その中で、災害時に一番困ることは、災害発生時や避難所での生活などにおいて、聴覚障害者や盲ろう者が必要な情報を得ることができないことと、周囲とのコミュニケーションが困難なために孤立してしまうことであることがわかりました。このような問題が起きる大きな原因は、地域の人たちが聴覚障害者や盲ろう者の存在を知らず、また理解が不足していることにあります。

この問題を少しでも解決するためには、まず災害発生時に地域の住民の支援を担うことになる民生委員、自治会役員に、聴覚障害者や盲ろう者への理解を深めていただき、災害時での聴覚障害者や盲ろう者への対応を知ってもらうことが必要であると考え、これらのことについてわかりやすくまとめたリーフレットを作成、配布することを決めました。

昨年春、これを 1 万部印刷し、市町の福祉課の協力を得て、民生委員、自治会役員などに配布、説明を行いました。読んでくださった方からは「これまで聴覚障害者や盲ろう者の事を知らなかったの、いい勉強になった。」「聴覚障害者や盲ろう者にどのようにして支援すればいいのかよくわかった。」などの声をいただき、かなり効果があったと考えています。

今後も引き続いて、私たちのことを理解してもらい、平常時はもちろん、災害が起きた時でも安心してお互いに助け合いながら生活できる地域社会を作っていきたいと思ひます。

※災害リーフレットは以下の URL からダウンロードできます。
http://www.kanagawa-wad.jp/asset/00032/info_a/20170513_saigai_leaflet.pdf

災害リーフレット表

表紙には「災害リーフレット表」として、聴覚障害者や盲ろう者の生活の様子や、災害時の対応方法がイラストで描かれています。また、災害時の対応方法や、聴覚障害者や盲ろう者の生活の様子についても詳しく説明されています。

災害リーフレット裏

裏表紙には「災害時における聴覚障害者、盲ろう者の事を知ってください」として、災害時の対応方法や、聴覚障害者や盲ろう者の生活の様子についても詳しく説明されています。また、災害時の対応方法や、聴覚障害者や盲ろう者の生活の様子についても詳しく説明されています。

二人だけの会津の旅

秦野市 藤田 健二

会社を退職した記念に女房と二人旅を計画し、JTBで企画する各種コースの中から鉄道、バス、旅館の組合せでビューバスで行く五色沼ごしきぬま&会津二日間の旅を選び応募しました。季節は夏。薄れゆく記憶の中に今でも鮮明に残っています。

市町村のページ

まず。行程一日目、東北新幹線で東京を出発し福島に到着。迎えてくれたのが赤・黄色の派手な大型バスで、また乗客が我々夫婦の二人だけという今までに体験したことのない二人だけの旅が始まりました。何はともあれバスはスタートし、最初の目的地吾妻スカイライン経由五色沼に到着し、早速、瑠璃沼、毘沙門沼、弁天沼など変化のある自然探勝路を散策後、昼食を楽しみました。休憩後、野口英世記念館へ。ここは故人の遺徳遺業と生家の保存目的で建造されたもの。次に見学したコース外の「世界のガラス館」が印象に残りました。世界の誇る数々のガラスコレクションを一堂に集め展示され、ガラスの無限の美の世界を体験、またガラスならではの光を通す透明な美しさは私たちの心を魅了しました。次のコースの会津村へ移動し散策する。ここは六万坪の大庭園の中に会津慈母大観音像をはじめ曲り家、三重塔、巨大釈迦横臥像等々見学し、一日目の行程が終了となりホテルへ。食事と温泉を堪能しました。

二日目、ホテルを出発し大内宿へ。ここは茅葺の家並みを残す重要伝統的建造物保存地区を時間の許す限り散策しました。次に飯盛山いもりやまへ。有名な「白虎隊十九士の墓」を見学し、休む暇もなく鶴ヶ城つるがじょうへ移動し見学。ここは日本各地のお城と同様その地方に残された貴重な文化遺産を展示公開する施設となっている。次のコースは会津酒造歴史館、会津名宝館を見学し、更に楽市通りを散策し城下町を心行くまで堪能しました。帰りは郡山から新幹線に乗り一

路我が家へ。



三重塔

我が町から

相模原市 吉原 君子

まだ皆さんの記憶に新しいのではないかと思っています「第九十四回箱根駅伝」で、四年連続四度目の総合優勝を果たした青山学院大学の選手は、相模原市の誇りです。青学の選手は活躍が、地域の子供達にとつて身近に頑張っている先輩がいる事は、心強く夢を与えてくれる大きな存在であると思います。

春はもうすぐそこまで来ている時が一番寒いと言われているこの時期二月に、韓国平昌で行われた「第二十三回オリンピック冬季競技大会」には、十六歳の戸塚優斗とつかゆうとさんが、スノーボードハーフパイプに、そしてスピードスケートショートトラックさいとうとくみに齋藤仁美さいとうひとみさんが相模原市から出場。若き二人の若者の夢の大舞台です。「頑張つて」と心から声援を送りました。

現在上映中のオール相模原ロケ（ギオンスタジアム）の映画「ホペイロの憂鬱」で、サッカーJ3スリークラブのビッグカイト相模原の選手、森陽介もりようすけを演じている郭智博かくちひろさんも

相模原出身です。映画で見せてくれている「輝」は、私達市民の胸に届いています。

我が相模原市は人材の宝の豊富。しかし、忘れてはならない悲しい出来事「津久井やまゆり園」事件で多くの障害者が傷つき落ち込んでしまいました。明るいニュースもありました。相身連会長さうしんれんの小出庄作こいでしやうさくさんの写真が「第三十二回障害者による書道・写真全国コンテスト」で金賞に輝きました。神奈川県内で唯一全国上位十人に選ばれました。私達障害者に勇気と希望を与えてくれました。出来なくなつてしまった事を嘆くのではなく、今、出来る事に挑戦して、明るく楽しく人生を生きて行こうと思えました。



沿道の声援に応えるオープンカー上の原監督と吉永主将
(相模原市中央区淵野辺にて)
読売新聞 写真引用

第十二回 神奈川県障害者スポーツ大会開幕

平成三十年度の県障害者スポーツ大会が、四月八日のポウリング・アーチェリー競技会を皮切りに開幕し、四月のフライングディスク、陸上知的、五月の陸上身体、六月の卓球・STT競技会、七月の水泳と続きます。この大会は、全国障害者スポーツ大会への派遣選手候補者の選考を兼ねた県内最大のスポーツ大会です。(選考については下記参照)

事業案内・報告

五月の陸上競技会までの申込みは締切となっておりませんが、卓球・水泳競技会には間に合いますので、一人でも多くの参加をお待ちしております。

●卓球・サウンドテーブルテニス競技会

期日 六月十日(日)

会場 寒川総合体育館

申込 四月二十三日(月)まで

●水泳競技会

期日 七月八日(日)

会場 さがみはらグリーンプール

申込 五月十四日(月)まで

第十八回 全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」

平成三十年度の全国障害者スポーツ大会は福井県で開催されます。神奈川県からの派遣人数は昨年と同規模の四十四名の派遣を予定しております。

個人競技の出場種目は、「ボウリング(知的)」、「アーチェリー(身体)」、「FD(身・知)」、「陸上(身・知)」、「卓球・STT(身・知)」、「水泳(身・知)」です。

代表選手の派遣選考については、各市町村福祉主管課からの推薦及び県スポーツ大会の結果を基に選考しています。ボウリング・アーチェリー・FD・陸上については三十年度の成績を参考にし、卓球・STT・水泳については、二十九年度の成績を参考としています。推薦については、各市町村福祉主管課にお願いしておりますので、お問合せください。
※派遣日程等詳細についても、各市町村福祉主管課へお問合せください。

神奈川県視覚障害者福祉協会七十年 記念式典のご案内

神奈川県視覚障害者福祉協会は本年五月に設立七十年を向かえます。そこで、下記の日程で記念式典、祝賀会を行います。

日時 平成三十年五月三日(木)
十三時～十八時三十分
会場 ハーモニーホール座間
小ホール

【第一部 記念講演】
十三時四十分～十四時四十分
(テーマ) 視覚障害者運動の歴史
(講師) 笹川日盲連名誉会長

【第三部 アトラクション】
十四時五十分～十六時
一. 箏曲演奏 京春会(八名)
二. サクソフォン演奏
山北町宮里さんを中心に五人

三. 津軽三味線演奏
平塚市 山内善一氏
四. ピアノ演奏
茅ヶ崎市 藤野喜子氏
五. コーラス 女性部有志

【第一部 記念式典】

- 一. 開会の辞
- 二. 黙祷
- 三. 主催者挨拶
- 四. 七十周年の歩み紹介
- 五. 表彰状・感謝状贈呈
- 六. 来賓祝辞
- 七. 来賓紹介
- 八. 出席団团长紹介
- 九. 祝電・メッセージ披露
- 十. 閉式の辞

【第四部 祝賀会】

- 一. 開会のことば
- 二. 理事長あいさつ
- 三. 来賓あいさつ
- 四. 各団团长あいさつ
- 五. 乾杯
- 六. フロアから自由発言
- 七. 閉会のことば
- 八. 終了 十八時三十分

さんぽみち

横須賀の

近代歴史を巡る

横須賀市 鈴木 英雄

階段のない駅JR横須賀駅を降りると、すぐ目の前に海上自衛隊と米海軍の基地が見渡せるヴェルニー公園があり、現役の巨大な艦船が目の当たりに見える。

昨年、太平洋戦争時の旗艦「陸奥」の砲身が移築され、その威容に驚くかも。

公園内に横須賀港の建設を推進した幕末の幕閣、小栗上野介とフランス人技師、ヴェルニーの胸像がある。ヴェルニーに因んで造られたフランス式庭園は春と秋にバラが咲き誇り、バラ祭りがある。

公園内から横須賀港を巡る遊覧船が運航されていて、連日賑わっている。

その先、米海軍基地前を通り過ぎれば「三笠公園」。日露戦争の戦艦「三笠」が保存されている。

(艦内見学可、急な階段あり、有料)

(寄り道) 東京湾唯一の無人島「猿島」行の航路がある。猿島には戦争時の砲台跡など多くの遺構が残っている。(両航路とも障害者割引あり)

すぐそばに三浦半島の新鮮な野菜や魚介類を販売する「よこすかポートマーケット」があり、お買い物を楽しめる。

海岸沿いを潮風にふかれて歩いて行けば、日本最初の洋式灯台、観音崎灯台にたどり着く。(よこすか一万メートル・プロムナード)

最近話題の「スカジャン」は、京急汐入駅近くの「どぶ板通り」が発祥地。この付近にはご当地グルメ「よこすか海軍カレー」や「ネイビーバーガー」のお店が数軒ある。

三笠公園 【戦艦三笠】



みんなの広場

3B体操で障害者・

高齢者と笑顔の交流

茅ヶ崎市 戸井田 愛子

皆さん3B体操をご存知ですか。3B体操とは年齢・性別を問わず、誰でも楽しめる体操です。

3B体操は、「遊びの要素」「気軽に」「体に無理なく」をキーワードに、老若男女問わず、誰でも楽しめるように考案された健康体操です。ボール、ベル、ベルトといった用具を使用すること



で、しっかりとした健康効果が期待できます。

一人暮らしの高齢者の方と交流を持ちたいと考え、地域の中にある松林公民館と月一回3B体操の出来る講義室を平成二十八年四月、身障協会と協定を結んで貸していたでいます。3B体操の後には、昔懐かしい歌をギターで演奏して下さる友人がいます。現在三十名近い人たちが青春時代に戻って楽しく唄っています。



パラリンピックを

生きがいにする我が子

南足柄市 辻村 敬子

子供は、パラ卓球選手の辻村琢光^{たくみ}です。彼は十歳の時、骨の

んである骨肉腫を発症し、右上腕に人工関節を挿入しています。障害者になっても運動が好きで、小学校では体育の授業や運動会に参加出来ました。ところが中学校では、衝突の際に大事になるとの理由で、運動全般の活動を禁止されました。学校側と話し合いを重ね

た結果、卓球部へ入部出来たのは半年以上経過してからでした。利き手を変える為、藤沢市の太陽の家を拠点としている湘南卓球クラブに入り、パラ卓球を知り、パラリンピックを目指すようになりました。

湘南工科大学附属高校に進学し、皆と分け隔てなく練習できる環境の中で実力をつけ、二年生の時に日本代表に選出されました。母として、健常者から障害者になった子供に対し、心が元気でいられるように笑顔が消えないように見守ってきました。病気や障害

の事を周囲に隠していた彼も、今では自分から話した方が理解を得られ易いと話しています。現在、日本体育大学卓球部で東京パラリンピックを目指しています。



サーブを打つ辻村琢光さん

編集室から

平成三十年度が始まります。今年度で平成の年号が代わりますね。どんな年号に成るか楽しみです。昨年四月から「身障かながわ」編集委員に成り、未だ一年生です。始めは私に出来るか？とても心配でした。先輩方に色々教わりながら、やっと一年終了し二年生に成ります。これからも先輩方宜しくお願い致します。

障害者権利差別解消法が施行されましたが色々な事でバリアフリーはまだまだです。啓発活動の必要を感じます。

県身連事業予定

<4月>

- 1日(日) 県身体障害者ボウリング大会(身体)
(湘南とうきゅうボウル)
- 7日(土) 視力青年部・スポーツ部総会
(神奈川県ライトハウス)
- 8日(日) 視力女性部総会(座間市総合福祉センター)
- 8日(日) 県障害者スポーツ大会ボウリング競技会(知的)
(湘南とうきゅうボウル)
- 8日(日) 県障害者スポーツ大会アーチェリー競技会(身体)
(県総合リハビリセンター)
- 15日(火) 県障害者スポーツ大会フライングディスク競技会
(厚木市営及川球技場)
- 17日(火) 肢体部監事監査 (県社会福祉会館)
- 17日(火) 身障かながわ編集委員会(県社会福祉会館)
- 21日(土) 関東ブロック予選大会ソフトボール競技
(厚木市営及川球技場)
- 29日(日) 県障害者スポーツ大会陸上競技会(知的)
(城山陸上競技場(小田原市))
- 29日(日) 視力職業部総会 (平塚市民活動センター)

<5月>

- 3日(木) 県視障協70周年記念式典
(ハーモニーホール座間)
- 13日(日) 県障害者スポーツ大会陸上競技会(身体)
(相模原ギオンスタジアム)
- 15日(火) 肢体部代議員会 (県社会福祉会館)
- 16日(水) 県身連理事会・監査 (県社会福祉会館)
- 27日(日) 視力部総会 (小田原市)
- 31日(木) 県身連評議員会・新理事会(県社会福祉会館)
- 未定 社会参加推進協議会 (県社会福祉会館)

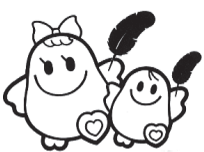
<6月>

- 10日(日) 県障害者スポーツ大会卓球・STT 競技会
(寒川総合体育館)
- 11日(月) 全国盲人福祉大会 (東京都)
- ~13日(水)
- 13日(水) 第63回日本身体障害者福祉大会(群馬県)
- ~14日(木)
- 13日(水) 肢体女性部教養講座並びに部長会議
(伊豆潮風館)
- ~14日(木)

<7月>

- 1日(日) 県視覚障害者福祉大会
(座間市総合福祉センター)
- 5日(木) 日身連関東ブロック団体長会議 (茨城県)
- ~6日(金)
- 8日(日) 県障害者スポーツ大会水泳競技会
(さがみはらグリーンプール)
- 12日(木) 身体障害者高尾山登山 (高尾山)

※問い合わせ 電話：045-311-8736
045-311-8744
[推進センター]
FAX：045-316-6860
<http://kanagawa-kenshinren.or.jp>



この会報は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。

皆様、お身体ご自愛下さい。そして色々な行事に参加して下さいませ。
編集委員 相原みどり (二宮町)